



埼玉県連合教育研究会会长  
山田 健一

会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

埼玉県連合教育研究会は、埼玉県内の74教育研究団体（19教科等研究会・55市町村等教育研究会）が各教育研究会の目指す研究目標や研究テーマに向け、自主的・創造的・組織的に研究を推進し、埼玉県教育の振興を図ることを目的に活動しています。

各学校では、「生きる力」をはぐくむという理念のもと、知識・技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力などの育成を重視した教育課程の編成・実施・評価を行い、児童生徒や地域の実態に応じた特色ある教育活動に積極的に取り組まれています。具体的には、言語活動の充実、指導方法の工夫改善、学習意欲の向上、いじめ防止や不登校対策、中一ギャップや若手教員の育成等、今日的課題に向けての組織的な取り組みも積極的に行われており、その成果多くの学校で見受けられています。

本年度、本会においても、前年度の活動方針等を見直し、義務教育9年間を見通した小・中学校の連結性を踏まえた教育研究活動の推進を重点・努力点として位置付けました。是非、この趣旨をご理解いただくとともに、他の教育研究会の研究主題や研究内容等を参考に研究活動の充実・発展に活かしていただければ幸いです。

### 平成26年度 活動方針と重点・努力点

#### <活動方針>

- 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中学校等の教育の充実と発展に努める。
- 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市の教育行政施策を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動をすすめ、「教育立県・埼玉」の実現に努める。
- 郷土埼玉を愛し、国際社会の進展や社会の発展に貢献する人間の育成を目指して、質の高い教育研究活動をすすめ、その実現に努める。

#### <重点・努力点>

- 確かな学力の向上を図るために、小・中学校9年間の連結性を踏まえた教育研究活動を一層推進する。
- 豊かな心と健やかな体を育て、たくましく生きる力をはぐくむ教育研究活動を一層推進する。
- 教員の資質の向上と専門職としての課題意識の高揚を図るため、組織的、継続的な教育研究活動を一層推進する。

各教育研究会におかれましては、普遍的な教育課題を明確にするとともに、その解決に向けて日々の研究活動をより一層充実したものとしていただけるものと期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさつといたします。

#### 目

#### 次

- |                                  |                           |
|----------------------------------|---------------------------|
| ・会長あいさつ 活動方針と重点・努力点 ..... 1      | ・地域教育研究団体のあゆみ ..... 7     |
| ・平成26年度役員・評議員 ..... 2            | ・事務局だより ..... 11          |
| ・平成26年度教科等研究団体の研究主題・研究内容 ..... 3 | ・平成26年度 研究論文募集要領 ..... 12 |

## 平成26年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員

## 1. 本部役員

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	山田 健一	さいたま・大宮東中	理事(書写)	岩渕 賢一	所沢・北野小
副会長(東部)	高野 治	幸手・幸手小	タ(音楽)	宇佐美美巳子	坂戸・若宮中
タ(西部)	清水 修	富士見・西中	タ(道徳)	常見 昌弘	さいたま・仲町小
タ(南部)	柿崎 登	上尾・西中	タ(心理相談)	高橋 光代	川口・東本郷小
タ(北部)	久米 敦	本庄・児玉小	監事	松村 文雄	八潮・八幡小
タ(さいたま)	中島 俊尚	さいたま・与野南中		原川 実	ときがわ・明覚小
事務局長	倉谷 宣仁	さいたま・大宮東中		新井 研吾	寄居・鉢形小
幹事	富田 敦	さいたま・大宮東中	編集委員長	眞鶴 廣久	さいたま・上木崎小
タ	浜田 兼造	さいたま・大宮東中	編集委員	浅井 大貴	埼玉大学附属小
タ	渡辺 俊行	さいたま・大宮東中		阿部 靖史	埼玉大学附属中
常任理事(南部)	鈴木 彰典	川口・鳩ヶ谷中		吉井 一生	鴻巣・松原小
タ(南部)	関根 秀一	草加・瀬崎中		石川 和宏	桶川・桶川小
タ(北部)	大前 勝也	熊谷・玉井小		小代美智子	さいたま・大東小
タ(北部)	渡邊 孝広	本庄・本庄西小		平山 昂	さいたま・城南中
タ(北部)	猪野 知	皆野・皆野小		大島 綾子	蕨・第一中
タ(西部)	田中 茂樹	狭山・柏原中			
タ(西部)	関口 昭彦	川島・出丸小			
タ(東部)	武井 正博	久喜・小林小			
タ(東部)	守屋 勝利	行田・行田中			
タ(さいたま)	三村 昇	さいたま・沼影小			

## 2. 教科等研究会

No.	研究団体名	会長名	所属
1	埼玉県国語教育研究会	中村 敏男	北本・東中
2	埼玉県書写教育研究会	岩渕 賢一	所沢・北野小
3	埼玉県社会科教育研究会	三宅 隆志	八潮・大原中
4	埼玉県算数数学教育研究会	大谷 一義	小川・大河小
5	埼玉県理科教育研究会	春田 盛男	行田・西中
6	埼玉県音楽教育連盟	宇佐美美巳子	坂戸・若宮中
7	埼玉県美術教育連盟	矢嶋 広明	熊谷・星宮小
8	埼玉県保健体育研究会	小川 光昭	本庄・中央小
9	埼玉県英語教育研究会	高島 勝也	越谷・平方中
10	埼玉県道徳教育研究会	常見 昌弘	さいたま・仲町小
11	埼玉県特別活動研究会	小池 幸	川越・川越小
12	埼玉県進路指導・キャリア教育研究会	鈴木 秀希	越谷・東中
13	埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会	渡邊 孝広	本庄・本庄西小
14	埼玉県教育心理・教育相談研究会	高橋 光代	川口・東本郷小
15	埼玉県特別支援教育研究会	永妻 恒男	さいたま・与野西中
16	埼玉県学校図書館協議会	佐々木信江	三郷・後谷小
17	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会	桜井 義幸	越谷・北中
18	埼玉県小学校家庭科教育研究会	宮川みさ子	新座・新座小
19	埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会	山田 直樹	川越・霞ヶ関小

## 3. 地域教育研究会

旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所属	旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所属
南 部	1	埼大附属小学校	有川 秀之	埼大附属小	比 企	30	東松山市教育研究会	久保田敏也	東松山・松山第一小
	2	埼大附属中学校	首藤 敏元	埼大附属中		31	小川班教育研究会	岡野 和義	小川・東小川小
	3	さいたま市教育研究会	藤村 尚彦	さいたま・三室中		32	菅谷班教育研究会	岡部 玲子	嵐山・七郷小
	4	川口市教育研究会	鈴木 彰典	川口・鳩ヶ谷中		33	玉川班教育研究会	青木 秀二	鳩山・鳩山小
	5	草加市教育研究会	関根 秀一	草加・瀬崎中		34	川島教育研究会	関口 昭彦	川島・出丸小
	6	蕨市教育研究会	石井 雅江	蕨・塚越小		35	吉見教育研究会	岩田 孝雄	吉見・東第二小
	7	戸田市教育研究会	伊藤 裕厚	戸田・戸田第一小	秩 父	36	秩父教育研究会	猪野 知	皆野・皆野小
	8	志木市教育研究会	古思 寿男	志木・宗岡第三小		37	児玉郡本庄市教育研究会	渡邊 孝広	本庄・本庄西小
	9	朝霞市教育研究会	奥秋恵美子	朝霞・朝霞第二小		38	熊谷市教育研究会	大前 勝也	熊谷・玉井小
	10	新座市教育連合会	宮川みさ子	新座・新座小		39	深谷市教育研究会	清水 勘	深谷・花園中
	11	和光市教育研究会	西 貴美雄	和光・本町小		40	寄居町教育研究会	松村 行康	寄居・男衾小
北 部	12	埼大附属特別支援学校	尾崎 啓子	埼大附属特別支援学校	北 埼	41	行田市教育研究会	春田 盛男	行田・西中
	13	鴻巣市教育研究会	高荷 國男	鴻巣・下忍小		42	加須市教育研究会	青木 恵一	加須・志多見小
	14	北本市教育研究会	島田 光美	北本・北本中		43	羽生市教育研究会	江原 博之	羽生・三田ヶ谷小
	15	上尾市教育研究会	萩原 常夫	上尾・富士見小		44	春日都市教育研究会	黒崎 政弘	春日部・小渕小
	16	桶川市教育研究会	岩田 泉	桶川・桶川小		45	越谷市教育研究会	荒井 一郎	越谷・大沢小
	17	伊奈町教育研究会	細井 忠	伊奈・小針小		46	久喜市教育研究会	坪井 文夫	久喜・菖蒲南中
	18	川越市教育研究会	田中 潔	川越・野田中	埼 葛	47	三郷市教育研究会	会田 国雄	三郷・彦成小
入 間	19	所沢市教育研究会	岩渕 賢一	所沢・北野小		48	蓮田市教育研究会	荒井 信男	蓮田・平野小
	20	飯能市教育研究会	高野 淳一	飯能・原市場小		49	幸手市教育研究会	佐怒賀清一	幸手・八代小
	21	日高市教育研究会	小鹿野敬巳	日高・高萩小		50	八潮市教育研究会	松村 文雄	八潮・八幡小
	22	狭山市教育研究会	磯野 太一	狭山・水富小		51	杉戸町教育研究会	川上 敏彦	杉戸・高野台小
	23	入間市教育研究会	渡邊 泰典	入間・東金子小		52	吉川市教育研究会	荒井 一美	吉川・三輪野江小
	24	富士見市教育研究会	大根田良夫	富士見・諏訪小		53	松伏町教育研究会	小山 隆二	松伏・松伏第二中
	25	ふじみ野市教育研究会	森川 哲治	ふじみ野・駒西小		54	白岡市教育研究会	山中 俊明	白岡・西小
	26	坂戸市教育研究会	佐藤 和也	坂戸・住吉中		55	宮代町教育研究会	大塚 健嗣	宮代・笠原小
	27	鶴ヶ島市教育研究会	金子 和義	鶴ヶ島・藤小			入間地区連合教育研究会	田中 茂樹	狭山・柏原中
	28	越生町教育研究会	田島 章弘	毛呂山・毛呂山小				武井 正博	久喜・小林小
	29	三芳町教育研究会	柿沼 秀樹	三芳・藤久保小			埼葛連合教育研究会		

平成26年度

# 教科等研究団体の 研究主題・研究内容 《21団体》

## 1. 国語教育

埼玉県国語教育研究会

### 1 研究主題

「生活に生きてはたらく国語の能力の育成をめざす授業の創造」

### 2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図り、興味関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を充実させ、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育てるとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

## 2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

### 1 研究主題

「児童生徒が生き生きと学ぶ書写授業の創造  
～確かな書写力の育成を目指して～」

### 2 研究内容

日常に資する技能向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の口頭発表）
- (2) 実技研修会（8月 教職員の技術向上）
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
- (5) 研究集録の発行（3月 研究成果の紙上発表）

## 3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

### 1 研究主題

- (小) 「自ら社会とかかわる子どもを育てる社会科学習」
- (中) 「学ぶ楽しさを味わい、わかる喜びを体感できる社会科学習」

### 2 研究内容

学習指導要領の趣旨の具現化を図る実践的な研究を

行う。

方法として、①小中学校地域学習研修会 ②プロック別授業研究会 ③研究発表大会を計画している。

そして、平成30年度全小社研埼玉大会、平成29年度関プロ埼玉大会を目指して、研究を進めていく。

## 4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

### 1 研究主題

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

### 2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深めるとともに、指導内容の系統を明らかにし、算数(数学)的活動を重視した学習指導が展開できるようにする。

そのために、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方や考え方のよさに気付かせ、既習事項を活用できるよう学習過程での活動や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

## 5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

### 1 研究主題

「一人一人の児童生徒が目的意識をもち、自然を主体的に探究する授業の展開」

### 2 研究内容

目的意識や見通しをもった観察・実験を行い、自然を主体的に探究する活動を通して、「科学的な見方や考え方」を育成することのできる学習指導の研究及び実践を行う。

- (1) 自然を主体的に探究する活動を促す指導計画の工夫
- (2) 問題解決的な活動を重視した指導の工夫
- (3) 科学的な思考力・表現力を育成する指導の工夫
- (4) 児童生徒一人一人のよさや可能性を生かす評価
- (5) I C T 機器の効果的な活用法の開発

## 6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

### 1 研究主題

「音楽との新しい出会いを求めて」

～音楽を形づくっている要素を架け橋にして、思いや意図をふくらませ、音楽を深める子どもたち～

### 2 研究内容

○ 音楽を通して、知的好奇心を満たしつつ、大きな

- 満足感を味わうことのできる授業を目指して、指導法の工夫・改善を図り、研修を深める。
- 小中の連携を図り、9年間を見通した指導計画を作成する。

## 7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

### 1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び  
～子どもが輝く 生き生き授業～」

### 2 研究内容

- (1) きらめく感性 つくりだす喜び  
子どもが主体となり、意欲的に自らの世界を豊かに開き、新たな自分をつくりだしていく姿を追求する。
- (2) 子どもが輝く 生き生き授業  
感性を十分に働きかせ、つくりだす喜びに溢れるような子どもの姿が実現する授業を目指し、研究する。

## 8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

### 1 研究主題

- (小) 「運動の特性や魅力を味わわせ、体力と運動の技能を高める指導と評価の工夫」「健康・安全に関する内容を実践的に理解させる保健学習の工夫」
- (中) 「生徒一人一人を伸ばす保健体育指導の実践」

### 2 研究内容

- (小) 「多様な動きをつくる運動遊び、多様な動きをつくる運動、体力を高める運動」「マットを使った運動遊び、マット運動」「保健」
- (中) 「学習指導要領の趣旨を踏まえた評価の工夫」「武道の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」「健康で安全な生活を営むための実践力を育てる保健学習の工夫」

## 9. 英語教育

埼玉県英語教育研究会

### 1 研究主題

- 「児童生徒一人一人が積極的に活動し、コミュニケーション能力を培う授業の創造」

### 2 研究内容

- 県内外の英語の学習指導や、外国語活動の実践研究

を基にした研修の場を設定し、コミュニケーション能力の育成を目指した授業研究を充実させながら、英語教育に関わる教員としての資質・能力の向上を図りたい。

また、日頃の学習指導の成果を発表する場として、生徒による英語弁論大会を開催し、指導教員および生徒の意識の高揚を図りたい。

## 10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

### 1 研究主題

「自己への問いかけを深め、よりよい生き方を求める道徳教育」～夢や希望をもち豊かな心をはぐくむ道徳授業の実践～

### 2 研究内容

- (1) 8月「夏季研修会」：資料吟味とともに昭和女子大学大学院教授 押谷 由夫 氏を招聘し、道徳の教科化に向けてのご講演を戴き、これからの道徳教育について追求する。
- (2) 10月「全日本中学校道徳教育研究大会・埼玉大会」さいたま市立岸中学校・さいたま市文化センター他を会場として実施する。  
全国各地域より約700名の参加者を予定しており、授業実践と理論の両面から研鑽を深める。

## 11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

### 1 研究主題

「豊かな学校・学級文化を創造する特別活動～個を生かした集団活動の系統的な指導を通して～」

### 2 研究内容

- 下記の重点を踏まえた特別活動の研究に取り組む。
- (1) 集団活動の関連性・継続性・発展性から学校・学級文化を見直す理論研究を行う。
  - (2) 指導計画、指導方法、評価の具体に関する実践研究を行う。

## 12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

### 1 研究主題

「小・中学校におけるキャリア発達の段階に応じた学級活動の充実・実践」

### 2 研究内容

小学校の実践事例を研究し、中学校との連携の研究

を図る。児童生徒が社会的・職業的に自立するために必要な基礎的・汎用的能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の視点でこれまでの取組を見直し、検討を進める。

また、副読本『中学生活と進路』の県版部分を学年ごとに作成編集する。

### 13. 視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

#### 1 研究主題

「自ら学び主体的に活動する力を育む教育メディアの活用をめざして」

～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～

#### 2 研究内容

本連盟に関わる各地区の団体において、教育メディアを活用した実践研究を進め、その研究成果の発表を実施して、視聴覚・情報教育教材教具のさらなる活用推進を図っている。

《埼玉県放送教育研究会》

#### 1 研究主題

「再考 学ぶ喜びのもてる放送教育」

#### 2 研究内容

本研究会では、各教科での学校放送番組の活用方法を研究する。視聴後の話合い（子どもの発言）から子どもの学び方、放送番組の効果的な活用法を研究し、「学ぶ喜び」のもてる授業展開を追求する。

また、番組利用を含め、様々なＩＣＴ機器を活用した授業実践にも取り組む。

《埼玉県教育機器研究会》

#### 1 研究主題

「児童生徒一人ひとりの心を大切にした教育機器の活用」

#### 2 研究内容

本研究会にかかる各地区の団体において具体的な研究を推進し、その研究成果の発表を実施して、教育機器・情報教育教材の活用推進を図る。

### 14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

#### 1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援～社会性を育むスキル教育の実践と定着～」

### 2 研究内容

- (1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るために、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

### 15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

#### 1 研究主題

「生きる力を育て、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方を求めて」

#### 2 研究内容

- (1) 児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害等、学習や生活に特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導の在り方を追究する。
- (3) 新しい時代の特別支援教育の課題に応じた教育について研究し、実践を進展させる。

### 16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

#### 1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造」  
～読書指導でびきの見直しと再編集～

#### 2 研究内容

新しい学習指導要領の下での「管理運営・利用指導・読書指導・地域連携の4部会における実践研究の推進」「本会が発行した刊行物の見直しと改訂」「読書感想文並びに読書感想画コンクールの実施」。

これらを軸に、学校教育の展開に寄与する学校図書館について研究を進める。

### 17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

#### 1 研究主題

「次代を担い生き抜く力をはぐくむ学習指導の研究の推進」  
～一人一人の自立を促し、  
新たな価値を創造できる生徒の育成～

**2 研究内容**

平成28年度の関プロ埼玉大会に向け、「生活と技術のかかわりについて理解を深める」、「自らの生活の改善に必要な情報や技術を適切に選択して活用しようとする態度」を「生き抜く力」と定義し、昨年度の実践を改善し、より効果的に育むための学習指導の在り方や生徒の変容の様子についても研究する。各分野、内容毎にモデルとなる指導計画及び授業を再検討・実践し、検証方法についても、具体的に県内会員へ提案する。

**18. 小学校家庭科教育**

## 埼玉県小学校家庭科教育研究会

**1 研究主題**

「自分の生活を見つめ、家庭生活をよりよくしようと工夫し、実践する児童の育成」  
～快適な生活への関心を高め、着方・住まい方を考え、工夫する能力を育てる家庭科学習～

**2 研究内容**

- (1) 本庄市立旭小学校において、第45回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会を開催
- (2) 夏季研修会において講演会を実施
- (3) 埼玉県小学校家庭科児童研究発表会の実施
- (4) 会報34号の編集と発行

**19. 生活科・総合的な学習の時間教育**

## 埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

**1 研究主題**

「思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫」

**2 研究内容**

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場面を類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

**20. 埼玉大学附属小学校**

## 埼玉大学教育学部附属小学校

**1 研究主題**

「学びの本質」を育む授業の創造（3年次）

**2 研究内容**

- 第82回小学校教育研究協議会  
平成26年10月14日（火）・15日（水）に予定している。研究3年次として、各教科、健康教育、外国語活動の授業を公開し、各教科、健康教育毎に提案を行う。
- 校内授業研究会  
各教科及び個人の研究主題を基に、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議を行う。

**21. 埼玉大学附属中学校**

## 埼玉大学教育学部附属中学校

**1 研究主題**

『学習指導法の改善  
～他者との「関わり」を通した学習指導の工夫～』

**2 研究内容**

本研究では、「関わり」について、『話合いや学び合いによって、自分の考えを構築したり、相手にわかりやすく伝えたり、相手の意見を聞いたり、課題解決を図ったりするなどの力が育成される「関わり」』と『自ら必要だと感じる能動的な「関わり」』ととらえるとともに、各教科において、指導内容を明確にすることと他者との関わりを通した学習活動を意図的に取り入れることを手立てとして、実践研究を行った。



# 地域教育研究団体の あゆみ

## 《14団体／55団体》

### 1. 川口市教育研究会

会長 鈴木 彰典

本研究会は、川口市内小学校52校、中学校26校の教職員2,214名で構成されている。

教科研究部、教科外研究部合わせて23の研究部を持って活動している。

#### 1 本研究会の目的

この会は教育基本法その他の学校教育に関する諸法規に基づき、会員の研究を保障し組織的な教育活動を充実させて、川口市教育の民主的発展に寄与することを目的とする。

#### 2 主な事業内容

- (1) 定期総会（年1回）
- (2) 評議員会（年2回）
- (3) 教科研究部総会、教科外研究部総会（年1回）
- (4) 教育講演会（年1回）
- (5) 研究部長・副部長会議（年3回）
- (6) 市教研だより発行
- (7) 市教研情報発行
- (8) 市文集「かわぐち」発行
- (9) 研究紀要発行

#### 3 各研究部の活動

年間を通して、授業研究会等や夏季研修を実施している。

### 2. 志木教育研究会

会長 古思壽男

本研究会は、志木市内小学校8校、中学校4校に在籍する教職員で組織され、39の研究部で組織されている。

#### 1 本研究会の目的

本会は、公教育の理念に基づき、志木市の主任会と連携し、本市教育の充実・発展に寄与することを目的としている。

#### 2 主な事業

本会は、目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 授業研究会、協議会
- (2) 硬筆、書きぞめ展覧会
- (3) 児童生徒科学展
- (4) 児童生徒図工・美術展（創造展）
- (5) 小学校陸上大会
- (6) 小・中学校音楽会
- (7) その他、本会の目的達成に必要な活動

#### 3 今後の予定

各教科の主任を中心として、市内の教職員の資質向上をさらに図るために、組織の見直しが必要と考えている。全教科で授業研究会を実施し、市内の全会員が参加できる体制を検討していく予定である。

### 3. 桶川市教育研究会

会長 岩田 泉

本研究会は、小学校7校、中学校4校、会員320名、27研究部会で構成されている。

#### 1 本研究会の目的

本研究会は、桶川市内の教育の振興を図り、文化の進展に寄与することを目的としている。

#### 2 本年度の主な事業

##### (1) 本部の活動

- ① 平成26年度顧問・正副部長会議  
4月17日（木） 桶川市立加納中学校
- ② 平成26年度定期総会  
5月13日（火） 桶川市立加納中学校

##### (2) 各研究部の活動

- ① 研究協議会 ② 授業研究会
- ③ 実技研修会 ④ 現地研修
- ⑤ 各種発表会 ⑥ 展覧会等の開催及び運営

##### (3) 研究紀要の発行

毎年、各研究部の活動のまとめを作成しており、今年度は第38集を発行する予定である。

各部会とも、正副部長を中心として、積極的に学ぶ姿勢が見られている。

#### 3 その他

本研究会は、桶川市教育委員会の全面的な支援を受けて活動を行っている。平成26年度の定期総会では、桶川市教育委員会が元埼玉県教育委員会委員長の上条さなえ氏を講師とした記念講演「差別を抱きしめて」を主催した。講師自らの幼少期から現在の活動に至るまでの経緯を中心とした内容であった。それは、教師としてだけではなく、人として大切にしていきたいことをあらためて考えさせられたものであった。会員の学校における、目の前の子どもたちへの思いや、教師の責務など、様々な面において、意識の高揚を図ることができた。

## 4. 所沢市教育研究会

会長 岩渕 賢一

本研究会は、所沢市立の小学校32校、中学校15校、教職員1,324名で構成されている研究団体である。

### 1 本研究会の目的

教育基本法の精神に基づき、自主的な教育活動を推進、向上をはかると共に、所沢市教育の進展に寄与することを目的としている。

### 2 主な事業

- (1) 4月 教科等部会
- (2) 5月～各研究部会  
授業研究会・実技研修会・講演会・展覧会  
音楽会・班別研究・小中連携研究
- (3) 6月 代議員定期総会
- (4) 運営委員会(年3回)
- (5) 8月 全員研修会  
演題「ディズニーに学ぶ感動を与える人づくり」  
講師 鎌田 洋氏
- (6) 本部役員会(年3回)
- (7) 3月 会計監査 役員選考委員会

## 5. 富士見市教育研究会

会長 大根田 良夫

本研究会は、富士見市内小学校11校、中学校6校、特別支援学校1校の教職員489名の会員により、26研究部会と5研究班で組織されている。

### 1 本研究会の目的

本会は、昭和54年に教育基本法の精神に基づいて、教師自らの研修と研究を大切にすることを基本姿勢として結成され、富士見市教育の推進を図ることを目的としている。

### 2 主な事業

- (1) 定期総会(5月8日開催)・理事会(年3回)
- (2) 教育講演会 教育と教育以外演題を交互に実施  
平成25年度  
演題「子どもが育つ教師力・学校力」  
講師：文部科学省視学官 杉田 洋氏
- (3) 研究発表会 (2月実施予定)
- (4) 各研究部会  
授業研究会・協議会・実技研修会等の開催
- (5) 各種教育団体との連携

### 3 研究班(会員の希望によって研究内容を決める)

2校以上の学校から5名以上の希望者があり、理事会の承認を得て、自主的に研究活動ができる。

## 6. ふじみ野市教育研究会

会長 森川 哲治

### 1 本研究会の目的

本会は、ふじみ野市として平成17年10月、上福岡市・大井町の合併により、小学校13校・中学校6校の陣容で再出発をし、10年目を迎えた。会員数は、在職する教職員479名で組織された教育研究団体である。本会は、会員の資質向上と親睦をはかり、ふじみ野市教育の進展に寄与することを目的としている。

### 2 事業内容

- (1) 教育に関する調査、研究の実施
- (2) 授業研究会、講習会、講演会等の実施
- (3) 研修視察、見学の実施
- (4) その他、教育の振興に必要な事業

### 3 本部の活動

- |            |            |
|------------|------------|
| ・一斉主任会(4月) | ・理事研修会(5月) |
| ・定期総会(5月)  | ・理事部長会(6月) |
| ・理事部長会(2月) | ・会計監査(3月)  |

### 4 今後の課題

授業研究会を中心に事業を進めてきている。今後も事業内容、会の運営面で見直しを進めながら、本市教育の一層の改善に取り組んでいきたいと考える。

## 7. 東松山市教育研究会

会長 久保田 敏也

本研究会は、東松山市内小学校11校、中学校5校の教職員412名を会員として組織されている教育研究団体である。

### 1 本研究会の目的

本研究会は、教育の振興と会員の資質向上発展を図ることを目的とする。

### 2 主な事業

- (1) 教育研究会総会及び研修会 5月15日(木)  
演題 「東松山市教育の現状・課題・解決策」  
講師 東松山市教育委員会教育長  
中村 幸一氏
- (2) 理事研究協議会 年4回
- (3) 教育講演会 8月21日(木)  
演題 「本県教育の現状・課題・解決策～学力向上を中心～」  
講師 埼玉県教育局市町村支援部長  
濱本 一氏
- (4) 教科等主任研究協議会・部長会
- (5) 各研究部会の活動
  - ① 授業研究会 ② 主任研修会 ③ 実技研修会
  - ④ 児童生徒作品展・研究発表会 ⑤ 特別支援学級合同遠足 ⑥ 市内小・中音楽会 ⑦ その他

## 8. 秩父教育研究会

会長 猪野 知

本研究会は、秩父郡内の小学校23校、中学校16校の会員数686名、29の研究部で組織されている。

### 1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

### 2 本会の主な事業

#### (1) 理事研修会

4月15日(火)・7月9日(水)・2月5日(木)

皆野町立皆野小学校

#### (2) 総会

5月9日(金) 皆野町立皆野小学校

代議員による総会・組織づくり

#### (3) 各研究部の活動

5月～2月 各研究部主体による研修会・

授業研究会を実施

#### (4) 教育講演会

8月8日(金) 皆野町文化会館

演題 「少しの努力で“できる子”を育てる池田  
清彦の子育て術」

講師 生物学者／理学博士 池田 清彦 氏

## 9. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 渡邊 孝広

本研究会は、児玉郡本庄市内の公立小・中学校32校の教職員716名、31研究会で組織されている。

### 1 本研究会の目的

本会は、児玉郡本庄市内における教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的としている。

### 2 主な事業

#### (1) 新旧本部役員研修会(4月4日／4月23日)

#### (2) 組織づくり(4月16日／4月17日)

#### (3) 総会・理事研修会(5月7日)

#### (4) 本部役員研修会(6月17日／12月／1月)

#### (5) 教育講演会(7月25日)

演題『子どものつながる力を引き出す学級づくり』

講師 上越教育大学教職大学院准教授

赤坂 真二 氏

#### (6) 各研究会の活動

年度当初、各研究会において研究主題を設定し、研修会、授業研究会、実技研修会等を実施している。

#### (7) 研修集録の作成

各研究会の1年間の活動概要、成果及び課題をまとめ、研修集録を発刊している。

## 10. 寄居町教育研究会

会長 松村 行康

本研究会は、寄居町小・中学校9校の教職員179名を会員として組織されている教育研究団体である。

### 1 本研究会の目標

- (1) 教育課程研究推進のため、会員相互の研修を充実する。
- (2) 児童生徒の学力向上と健全育成のため、小・中学校連携強化と各種事業の推進に努める。

### 2 主な事業内容

- (1) 企画運営委員会(年5回)
- (2) 寄居町教育研究会総会(5月)
- (3) 各研究部長会(5月)
- (4) 教育講演会(隔年)

平成25年度 演題「学力向上は簡単」

講師 上越教育大学教職大学院教授

西川 純 氏

- (5) 小・中学校一斉研究会(11月)  
男衾中(特活、理科、技術家庭科)  
鉢形小(体育、道徳)

#### (6) 各研究部の活動

- ① 寄居町科学展 ② 小学校親善運動会
- ③ 小・中学校音楽会 ④ 寄居町美術展
- ⑤ 寄居町書きぞめ展

## 11. 羽生市教育研究会

会長 江原 博之

本研究会は、羽生市内小学校11校、中学校3校の教職員298名を会員として組織されている教育研究団体である。

### 1 本研究会の目的

本研究会は、羽生市学校教育の振興をはかり、地域社会の教育・文化の発展に貢献することを目的とする。

### 2 主な事業

- (1) 会員研修のための、講習会・講演会・学習指導研修会等
- (2) 教育研究のための発表会・研究会・調査・視察等
- (3) 児童生徒の学習・生活向上のための音楽会・各種展覧会・体育会等
- (4) 各種教育関係団体・機関との連絡及び提携事業等
- (5) その他、目的達成に必要な事業

### 3 事業内容

- (1) 各研究部主任研究協議会(4月)
- (2) 常任理事会・理事会(4月・3月)
- (3) 教育研究会総会(5月)
- (4) 教育講演会(7月)
- (5) 教育研究大会(2月)

## 12. 吉川市教育研究会

会長 荒井一美

本研究会は、吉川市内小学校8校、中学校3校の教職員339名を会員とし、27研究部会で組織されている。

### 1 本研究会の目的

本会は、吉川市小中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的とし、達成のため、次の事業を行う。

- (1) 教育に関する研究会、発表会、講演会等の開催
- (2) 教育に関する研究調査や研究部の刊行
- (3) 市内各校並びに教育関係機関との連絡提携
- (4) その他、目的達成に必要な事業

### 2 主な事業

- (1) 事務局会議（年3回） 評議員会（年3回）
- (2) 教育研究会総会（年1回5月）
- (3) 各研究部会（年3回以内）
- (4) 各研究部児童生徒発表会（5回）
- (5) 講演会（年1回）  
平成26年度 演題  
「授業で全ての生徒に自尊感情を育む」  
講師 秩父市立高篠中学校  
教諭 長谷川 博之 氏
- (6) 吉川市教育研究会研究集録「歩み」の発行  
1年間の各教育研究部活動内容報告

## 13. 松伏町教育研究会

会長 小山 隆二

本研究会は、松伏町内小学校3校、中学校2校の教職員155名で構成され、「豊かな心と実行力のある子どもを育てる教育を目指して」をテーマに研究と実践に取り組んでいる。

### 1 本研究会の目的

本会は、教育の研究を推進し、松伏町教育の進歩向上に寄与することを目的とする。

### 2 主な事業

- (1) 新旧委員会・主任会（4月）
- (2) 総会準備会及び総会（5月）
- (3) 教育講演会（総会同日）  
平成26年度 演題「これからの道徳教育のあり方」  
講師 羽生市立井泉小学校長 廣瀬 仁郎 氏
- (4) 教科等部長会（6月）
- (5) 各研究部会（教科等26部会5月～）  
  - ① 授業研究会 ② 実技研修会 ③ 硬筆・書きぞめ展 ④ 科学展 ⑤ 小中音楽会 ⑥ 美術展
  - ⑦ 発明創意工夫展 ⑧ 小学校陸上大会
  - ⑨ スピーチコンテスト ⑩ 伸良し遠足

- ⑪ 夏季小中合同研修会 ⑫ 各部協議会・推進委員会等

- (6) 研究集録「たゆまぬ」の作成・発行（3月）

## 14. 白岡市教育研究会

会長 山中俊明

本研究会は、白岡市内小学校6校、中学校4校の計10校である。教職員数は、228名を会員とし、27研究会で組織されている。

### 1 本研究会の目的

白岡市の教育の向上を図ることを目的とする。

### 2 主な事業

- (1) 教育に関する調査研究
- (2) 会員の研究協議会の開催
- (3) 児童生徒の発表会等の開催
- (4) 他の教育諸団体との連絡提携
- (5) その他、目的達成に必要な事項

### 3 事業内容

- (1) 常任理事会及び理事研究協議会（4月、1月）
- (2) 専門研究会（4月）
- (3) 総会・研修会（4月）  
演題「学校・家庭・地域の連携で作る絆」  
講師 元埼玉県教育委員会委員長 松居 和氏
- (4) 各研究会の活動  
年度当初に研究主題を設定し、研修会等を実施
- (5) 研修集録の作成 「研究のあゆみ」



## 事務局だより

### 平成26年度 本部事業計画

平成26年

4月1日(火) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼

5月20日(火) 平成25年度本部会計監査会

6月24日(火) 第1回正副会長会  
常任理事・理事研究協議会  
評議員会(総会)  
講演会  
講師 埼玉大学教育学部  
教授 桐淵 博 氏

7月4日(金) 教科等研究団体長・事務局長会議

7月25日(金) 第2回正副会長会

10月10日(金) 会報67号発行及び配布

10月14日(火) 活動方針作成委員会

11月21日(金) 関東地区小中学校教育研究会連絡協議会 群馬大会

11月28日(金) 研究論文募集締め切り

12月12日(金) 第1回 編集委員会

平成27年

1月28日(水) 第2回 編集委員会

2月10日(火) 第3回正副会長会

2月23日(月) 平成26年度教育研究団体活動報告書提出(日本教育公務員弘済会)

3月4日(水) 教科等教育研究団体会計監査会  
(教科等教育研究団体実績報告書検収)

3月5日(木) 教科等教育研究団体会計監査会  
(教科等教育研究団体実績報告書検収)

3月6日(金) 教科等教育研究団体会計監査会  
(教科等教育研究団体実績報告書検収)

3月13日(金) 平成26年度研究集録・研究論文集発行及び配布

3月23日(月) 平成26年度教育研究団体活動報告書提出(埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会)

○ 全国教育研究発表大会後援

- ・第48回全日本中学校道徳教育研究大会 埼玉大会  
平成26年10月30日(木)・31日(金)  
さいたま市文化センター、さいたま市立岸中学校 他

○ 関東地区教育研究発表大会後援

- ・平成26年度は、該当なし

### 平成26年度研究集録の執筆担当地域教育団体

本会は毎年3月に、『研究集録 付 研究論文集』を発行し、県内全小中学校等へ配布しております。

研究集録の原稿執筆では教科等研究会並びに地域教育研究会のご協力をいただいております。

教科等研究会は毎年研究集録の執筆をしていただいております。

地域教育研究会は4年に1回執筆をしていただいておりますが、旧教育事務所の秩父、児玉、大里、北埼は市町村合併により変則的に原稿執筆を依頼しております。

平成26年度は下記の16地域教育研究会に原稿執筆をしていただきます。皆様には、所属の研究会はもちろんですが、他の研究会の研究および活動内容についても是非ご覧になってください。

さいたま市教育研究会	川島教育研究会
草加市教育研究会	秩父教育研究会
新座市教育連合会	児玉郡本庄市教育研究会
伊奈町教育研究会	熊谷市教育研究会
飯能市教育研究会	加須市教育研究会
日高市教育研究会	春日部市教育研究会
越生班教育研究会	八潮市教育研究会
玉川班教育研究会	宮代町教育研究会

### 被 表 彰

平成26年度「身体障害者福祉のための第56回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会長賞を、次の方が受賞しました。

おめでとうございます。

日高市立高麗川小学校 第3学年 中野 祐太 さん  
作品名 『パイナップル号でうちゅうへGO!』

行田市立行田中学校 第3学年 秋山 航輝 さん  
作品名 『My note book』

## 平成26年度 研究論文募集要領

埼玉県連合教育研究会

平成26年度研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

### 1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

### 2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、更に、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

### 3 応募資格

県内の公立小中学校に勤務する教員の個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

#### 平成25年度 研究論文入賞者

##### <入選>

該当なし

##### <佳作>

- 1 「わかる」から「できる」へ 全員が夢中になって取り組む授業の実践～第6学年ティーボールの学習指導を通して～  
春日部市立粕壁小学校 佐藤 貴 教諭
- 2 ICTを活用し、外部との交流を通して、生徒の発信力を高める指導の工夫～外部と連携しながら可能性を広げる社会科授業～  
越谷市立大袋中学校 柿沼 英和 主幹教諭
- 3 体育科の学習内容（技能／思考・判断／態度）の確かな習得を図るために教師間における指導法の共有化の在り方～第6学年全クラスでの「ダブルダッチ」の授業実践を通して～  
坂戸市立入西小学校 萩原 雄磨 教諭

### 4 応募形式

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行の2段組みで、パソコン入力（Word）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「～である。」体）を原則とする。

また、常用漢字・現代仮名遣いにするとともに、別に表紙を付け、題名、氏名（グループ代表者名）、職名、勤務校等を記入してください。

なお、紙上未発表のものに限る。応募原稿は返却しませんので、あらかじめご了承ください。  
希望者には、応募票を送付しますので事務局へお申し出ください。

### 5 原稿締め切り

平成26年11月28日（金）必着

### 6 入選発表

入選・佳作に選ばれた研究論文は、平成26年度研究集録に集録し、入選者は本会評議員会（総会）の席上で表彰を行います。なお、研究資料費として入選論文には5万円（最優秀賞は7万円）、佳作論文には3万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（1万円）を設けています。

### 7 審査員

本部役員および編集委員会委員

### 8 送付先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99 さいたま市立大宮東中学校内

**埼玉県連合教育研究会事務局** TEL 048-641-0808 FAX 048-645-1922  
E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp